

T A C 行政書士講座 無料オンラインセミナー

令和４年度 行政書士試験の
『総評』と
『今やるべきこと』

2022.12.8

講師 小池昌三

令和4年度本試験の

総 評

【令和4年度行政書士試験】 TACデータリサーチの結果（除・記述式）

	総合 (択一・多肢)	法令 (択一・多肢)	一般 (択一)	合格率
平成 30年	153.16点	118.42点	34.74点	12.7%
令和 元年	152.19点	110.21点	41.97点	11.5%
令和 2年	158.58点	115.36点	43.22点	10.7%
令和 3年	159.61点	122.15点	37.50点	11.2%
令和 4年	157.35点	118.11点	39.53点	？

【令和4年度行政書士試験】合格者予測

	実受験者	合格者	合格率
平成30年度	39,105名	4,968名	12.7%
令和元年度	39,821名	4,571名	11.5%
令和2年度	41,681名	4,470名	10.7%
令和3年度	47,870名	5,353名	11.2%
令和4年度	47,850名	5,400名？	？

令和4年度行政書士試験 総評

【出題形式】例年の傾向を踏襲しています。例年に比べ総ページ数が51ページと少なく、時間的にもある程度余裕をもって回答できたのではないのでしょうか。。

【出題内容】内容的には、基礎法学－やや難、憲法－標準、行政法－易、民法－やや難、商法－難、多肢－標準、記述－標準、一般知識－易。法令科目では、記述3問と行政法択一が得点できる問題である反面、民法・商法択一に難問が多く、全体としては標準的な難易度です。得点すべき行政法と記述式で得点できたかが合否を決めます。正答率60%以上の問題（23問）を確実に正解し、正答率50%～60%の問題（7問）のうち半分の3～4問、合計26問～27問正解することが理想です。難問をいかに避けて通るかも重要なポイントいえるでしょう。一般知識に関しては、社会系、情報系、文章理解いずれも易しい問題が多く、9問～10問程度の正解は可能で、基準点のクリアは容易な問題でした。

【合格ライン予測】法令択一で25問100点、多肢選択式16点、記述式32点、一般知識32点、合計180点が合格ライン。合格率は11%程度の合格率と予想します。

令和4年度試験のキーポイント

- ・ オースドックスで基本的な条文判例問題
- ・ 易しい問題・標準的な問題を確実に拾えたかどうか
- ・ 記述も過去択一で出題のある知識（基本条文）を問う標準的な問題

「基本的知識暗記型」

決して細かい知識に広げるのではなく、基本的な知識の学習と問題演習を繰り返す。

受験経験者が

今やるべきこと

今やるべきこと①

まずは自己採点をして
自分の弱点を洗い出す

自己採点

⇒ ○×つけて何点取れたかはもちろん、一つ一つの肢を検証（いまの自分の知識で確実に○×判断できるものがどれだけあるかチェック）する。

自己分析（自分に足りなかったものは何か？）

- ・時間不足
- ・ケアレスミス
- ・知識不足
- ・弱点科目分野は何か？（細かく棲み分け）
- ・不得意な問題形式はなにか？



今やるべきこと②

今すぐ学習を再開しよう
(合格発表までが勝負)

合格発表までの2か月の重要性

12月11日(日)～	残り48週
1月1日(日)～	残り45週
2月5日(日)～	残り40週
3月5日(日)～	残り36週
4月2日(日)～	残り32週
5月7日(日)～	残り27週
6月4日(日)～	残り23週
7月2日(日)～	残り19週
8月6日(日)～	残り14週
9月3日(日)～	残り10週
10月1日(日)～	残り6週
11月12日(日)	行政書士本試験

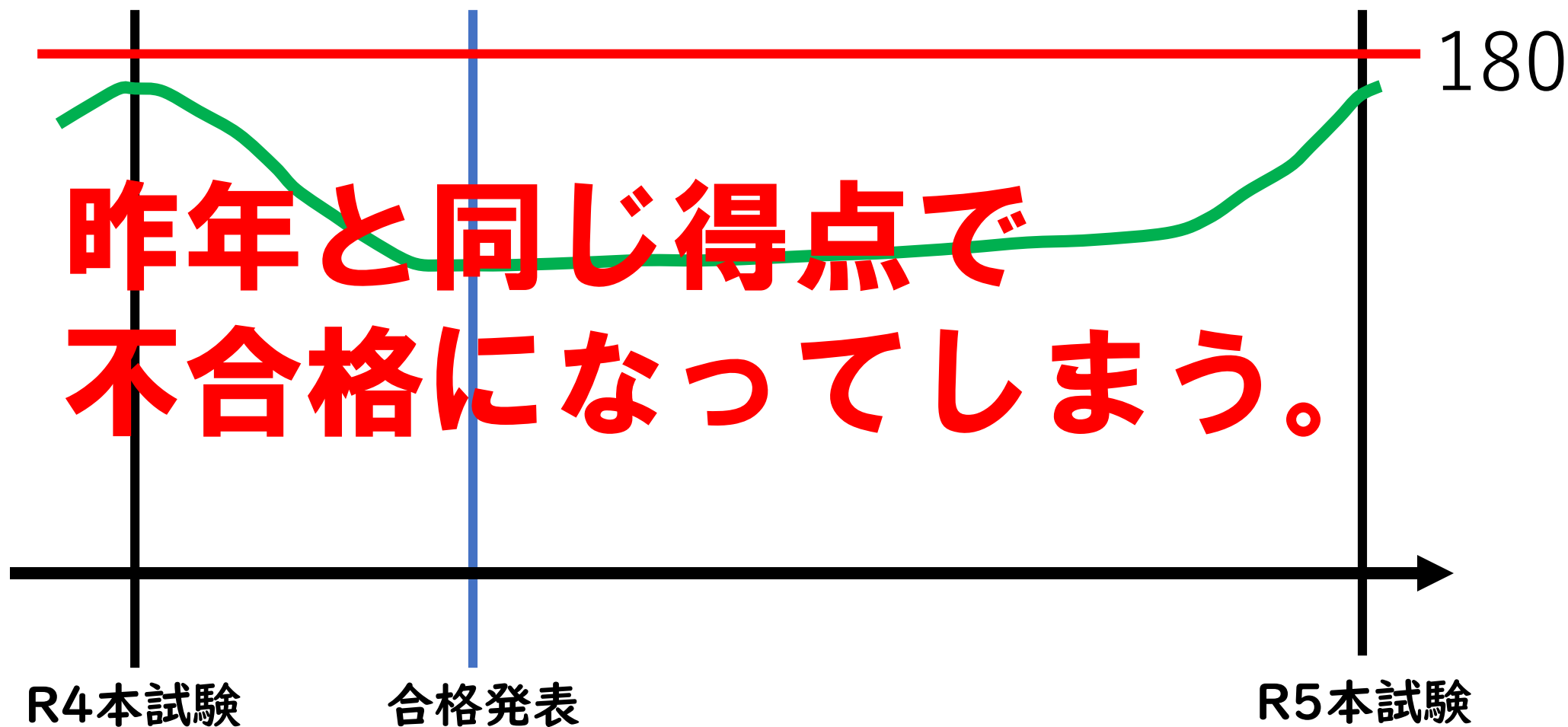


1 問 1 答形式の問題集で基本知識を確認（年末まで）

科目	分野	得意	不得意
憲法	人権		判例（違憲判決の下線部分）を読む
	統治		条文を読む・問題を解く
行政法	法理論		判例を読む・定義の確認
	行政手続法		条文を読む・問題を解く
	行政不服審査法		条文を読む・問題を解く
	行政事件訴訟法		条文を読む・訴訟要件の判例を読む・問題を解く
	国家賠償法		1 条 2 条がらみの判例を読む
	地方自治法		過去問を解く
民法	総則		じっくり事例問題を解く（記述含む）
	物権		じっくり事例問題を解く（記述含む）
	債権総論		じっくり事例問題を解く（記述含む）
	債権各論		じっくり事例問題を解く（記述含む）
	親族相続		じっくり事例問題を解く（記述含む）
商法	商法総則		問題を解く
	会社法		問題を解く
多肢	憲法・行政法		判例を読む
記述	行政法・民法		事例問題を解く



知識曲線



受験経験者向け

コース紹介

受験経験者の講座選択

プレミアム本科生

- ・ 本試験の総合得点150点未満
- ・ 記述30点未満

答練本科生（上級講義付き）

- ・ 本試験の総合得点150点以上
- ・ 記述30点以上

※上級講義付き

- ・ アウトプットの前に基本知識の理解を深め、もう1度整理したい人

行政書士試験の得点による講座選択

コース選択の場合には、記述式と一般知識を除いて、法令択一（160点満点中80点以上）と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点で5割強（92点ぐらい）を超えているかどうかを一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

【法令択一＋法令多肢 マークシート問題による目安】

法令択一40問 法令多肢12空欄 合計184点満点	
20問以上＋6空欄以上 ＝およそ92点以上	答練本科生 答練本科生 上級講義付き
19問以下＋5空欄以下 ＝およそ100点未満	プレミアム本科生

2023年合格目標

答練本科生

(上級講義付き)

スーパー答練(1st16回、2nd9回、3rd3回

+総合答練2回・公開模試2回・最終答練1回)

上級講義(1st16回、2nd9回)

2023年合格目標

受験経験者向けコース

「答練本科生 上級講義付き」

本試験は、「法律」や「判例」を道具として、法律問題を解決できるかを試す試験です。この法律問題を解決する能力を養うには、徹底的な問題演習あるのみです。ただし、やみくもに行うのではなく、本試験で出題されるところを的確にとらえて問題演習することが、効率的な合格を可能にします。「出題可能性が高いポイント」を『**上級講義**』で押さえながら、同時並行で「重要テーマを徹底的に問題演習」できる『**スーパー答練**』一緒に合格を勝ち取りましょう！

このコースの特徴

1

3stepの答練(スーパー答練)で着実に基礎を固め、実戦力を身につけられます。

「スーパー答練」は、今まで身につけた知識の再確認や弱点補強、そしてとにかく問題演習に取り組みたいという受験経験者の方のために作られた専用答練です。3step方式の答練で、本試験での得点力を高めます。もちろん各回に解説講義もついています。

◎1st Stage...基本・重要論点を科目別で出題します。

◎2nd Stage...時間制限を厳しくすることで、実戦に近い答案練習を行います。

◎3rd Stage...全科目・全範囲(※文章理解を除く)から30問を出題。ハーフ模試として直前期の腕試しに最適！

2

重要ポイントに論点を絞った「上級講義」で学習負担を減らします。

『合格革命 基本テキスト』を使用した「上級講義(全25回)」を受講できます。受験経験者の「重要論点はもう一度インプットして確認したい」というニーズにお応えします。

3

スーパー答練は「個人別成績表」つき！

マークシートを期限内に提出した方へ、得点・順位などを掲載した「個人別成績表」をWeb上でご提供いたします。客観的なデータにより、自分の弱点が明確になります。

※ マイページ登録が必要です。

上級講義

全25回

1st Stage 16回

● 憲法	3回
● 民法	5回
● 行政法	5回
● 商法	2回
● 一般知識	1回

2nd Stage 9回

● 憲法・基礎法学	1回
● 民法	3回
● 行政法	3回
● 商法	1回
● 一般知識	1回



過去問集(トレーニング)

自習用教材

上級講義の特長

- ① 「合格革命 行政書士 基本テキスト」
- ② テーマ別講義
- ③ 1 s t ステージ
⇒ 基本テーマを徹底復習
2 n d ステージ
⇒ 応用テーマの理解

スーパー答練 1st Stage

全16回

- 憲法 3回
- 民法 5回
- 行政法 5回
- 商法 2回
- 政治経済情報等 1回

《標準》

答練：60分 ▶ 解説：80分

スーパー答練 2nd Stage

全9回

- 憲法・基礎法学 1回
- 民法 3回
- 行政法 3回
- 商法 1回
- 政治経済情報等 1回

《標準》

答練：50分 ▶ 解説：90分

スーパー答練 3rd Stage

全3回

- 全科目・全範囲 3回
- ※文章理解は除く

《標準》

答練：90分 ▶ 解説：80分

スーパー答練の特長

- ① 論点網羅型答練
- ② 範囲指定型答練
- ③ 1 s t ステージ
⇒ 基本重要問題中心
- 2 n d ステージ
⇒ 基本重要 & 応用問題

直前期

(2023年9月)

総合答練

答練2回・解説2回

● 答練 2回 ● 解説 2回

全国公開模試

全2回

● 模試 2回

最終答練

答練1回・解説1回

● 答練 1回 ● 解説 1回

2023年
11月

行政書士本試験

2024年
1月

合 格

直前期答練の特長

① 本試験実戦訓練

② 論点網羅型答練

③ 総合答練①②

公開模試①②

最終答練

最終答練以外は成績処理あり

TACホームページを ご覧ください。

https://www.tac-school.co.jp/kouza_gyosei/

昨年度の体験講義サンプルを
Webで見ることができます。

https://www.tac-school.co.jp/kouza_gyosei/taiken_form/

資格の学校 **TAC** 行政書士講座

行政書士試験 主要科目

体験Web受講

お申込み前に
活用!

▼
講義の**質の高さ**を確認
受講のイメージを膨らませていただくとともに
Webフォローとしても体験!

▼
教材の**充実度**を確認
初学の方でも安心! 合格するために必要な
エッセンスが詰まった教材を体験!

夢を諦めない受験生をサポート！
2023年合格目標

受験生応援割
キャンペーン第1弾

受験経験者割引・再受講割引
各受講料から¥22,000 off！

さらに！12/26(月)まで早期申込特典！

TAC
行政書士講座

2022.
11/1(火)
▼
2023.
1/31(火)

①『**受験生応援割キャンペーン第1弾**』

＜対象コース＞プレミアム本科生・答練本科生 上級講義付き・答練本科生A
「受験経験者割引」「再受講割引」各受講料から一律22,000円off！

②さらに、12/26(月)まで『**早期申込特典**』つき！

＜対象コース＞答練本科生 上級講義付き・答練本科生A
「実カグレードアップ講義」(全3回) 無料Web受講！